

# はま風 *sea breeze*

Vol. 26  
2022. 9

ヒメユー・ブック・リンク

## HimeU×Book×Link

に参加して、みんなで本を読もう！  
感想を投稿したら景品がもらえます。



詳細はこちら



「読書マラソン」が  
「HimeU×Book×Link」  
にリニューアルしたよ!!

姫路大学マスコットキャラクター  
「ひめみちくん」

- ◆ 巻頭言 ..... p. 2  
「ウイズコロナ・アフターコロナにおける姫路大学附属図書館の未来構想」  
姫路大学附属図書館 図書館長 和田 幸司
  
- ◆ 推薦図書を紹介 ..... p. 4
  - ・「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」  
看護学部 看護学科 准教授 大儀 律子
  
  - ・「名もなき子」  
図書館事務課 瓦本 朋子
  
- ◆ 「HimeU×Book×Link」参加者募集中！ ..... p. 5
  
- ◆ 附属図書館からのお知らせ ..... p. 6

## ■■■■■■■■■■ 卷頭言 ■■■■■■■■■■

# ウイズコロナ・アフターコロナにおける 姫路大学附属図書館の未来構想



姫路大学附属図書館 図書館長 和田 幸司

ウイズコロナ・アフターコロナといわれる状況のなかで、図書館も新たな機能や対応が求められています。と同時に「みんなの学びの場」である図書館の不変的な価値を、本学附属図書館の未来構想とともにお伝えしたいと思います。

コロナ禍により、学生・院生への学習・研究支援、私たち研究者への専門的な研究支援が、図書館閉鎖あるいは限定的開館という状況によって、即時的影響を受けたのは事実でしょう。私たちの学術研究が図書館機能によって大きく左右されるというのは言い過ぎですが、CiNii でヒットする本学の「論文執筆数・研究プロジェクト数」も 2018 年「61 件・6 件」、2019 年「44 件・7 件」、2020 年「45 件・6 件」、2021 年「31 件・3 件」と減少傾向にあり<sup>1</sup>、大学としての研究体制が縮小していると言わざるを得ません。

こうした研究活動停滞による中期的ともいえる課題解決のためには、本学附属図書館での学術論文などのデータインフラ利用拡大に向けた支援、蔵書・電子媒体等による知の集積や保有が必要となっています。前者においては、2019 年以降、大学図書館間相互利用における利用料金相殺サービスを開始し、本学の教育研究活動の円滑化に貢献を行ってきました。この点は一定の成果をあげています。しかしながら、後者においては、現代社会において多くの知識や情報が電子化された形で出版されるようになり、また、オープンアクセス化も進んでいることから、電子媒体での知の集積や保有と利用促進・利用支援への転換を進める必要があります。2020 年 6 月より、附属図書館ではリポジトリシステムを運用開始し、姫路大学で生産される学術情報の発信拠点基地としての役割を果たし始めましたが、さらなるコンテンツの充実が図られねばなりません。図書館内の高速無線 LAN 整備を含めたハード面とソフト面のさらなる整備と充実が必要となっています。

不変的な価値である「みんなの学びの場」としての図書館の意義という点はどうでしょうか。この視角からは、学生や院生の皆さんから要望が多く、アクティブラーニングへの重要性への認識から他大学でも設置が進んでいる「ラーニング・コモンズ（自学・グループ学習の促進・知的交流の場）」の整備が必要に

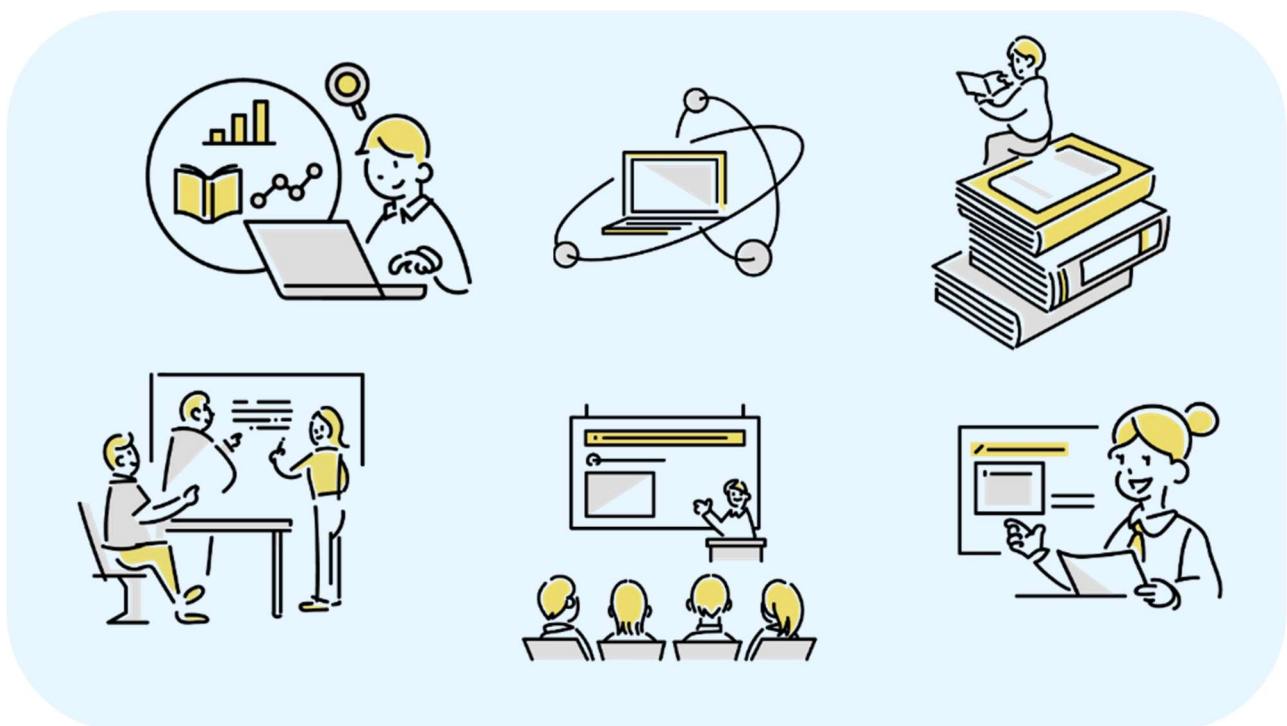
<sup>1</sup> 国立情報学研究所が運営するデータベースである CiNii Research にて「姫路大学」を検索し、年次ごとに絞り込んだ（2022 年 7 月 6 日参照）。

なっています。附属図書館では2019年よりペットボトルなど蓋のできる飲み物の図書館への持ち込み「可」とし、南側閲覧室にラウンジ型学習スペースを設定いたしました。しかしながら、コロナ禍によって、誰もが気軽に立ち寄ることができ、交流によって「心地よい居場所」となるようなスペース確保は遂行が非常に困難になっています。

そこで、附属図書館が学生の生活動線の一部となるようなラーニング・コモンズ的环境設定の検討も必要ではないでしょうか。例えば、学ぶ意欲のある学生や院生の皆さんが共に学びあえる空間、個々の目的にあった環境を見つけ「Learning」に取り組む居場所はいかがでしょうか。……情報を知識に、知識をさらなる知恵に変えていく。情報通信環境が整い、自習やグループ学習用の家具や設備が用意され、相談係がいる開放的な学習空間。時にキッチンカーのような飲食スペースが付設される——。デジタル資料が増大し、情報の入手や発信手段がますますオンライン化していく現状のなかで、附属図書館が多様化する「学び」を支えることができれば、こんなに嬉しいことはありません。

以下に、私たち図書館スタッフが共に考えた「Learning」ができる居場所例を挙げておきます。

- (1) ゼミ発表やガイダンス、小グループに分かれてのディスカッションが可能なスペース。
- (2) プロジェクター、ホワイトボードなどを利用して、自由な雰囲気でも人数でのグループワークやプレゼンテーションができるスペース。
- (3) 姫路大学内外の研究者を招き、珈琲や紅茶を飲みながら気軽にトークを行うスペース。



## 推薦図書を紹介



### 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』

ブレディみかこ(著) 新潮社 2019年6月

看護学部 看護学科 准教授 大儀 律子

配架場所：一般図書コーナー  
請求記号：376.333||BRA  
ラベル番号：0047313

アイルランド人の父と日本人の母を持つ息子「ぼく」が過ごした、底辺校と呼ばれていた英国の田舎の中学校に通う1年半について日常を描いたノンフィクション作品です。母である著者が英国だけではなく、多くの国に存在する社会問題を問いかけています。今にもすり切れそうな制服を着ている友人に、どうすれば傷つくことなく再利用の制服を渡すことができるのでしょうか？人種差別的な発言を繰り返す

友人とはどう付き合っていけばよいのでしょうか？様々な出来事や問題を受け止め、「ぼく」なりに悩み考えて行動していく姿に「すごい」と思うと同時に、これが自分であったらどうするだろう、と考えてしまいました。人種問題、LGBTQ問題、貧富の問題は教科書に出てきそうですが、どれも説教臭さはなく、自分の考えを押しつけるわけでもなく、気付きを与えてくれるのもこの本をお薦めするところです。グローバルな世の中を生き抜いていく皆さんに是非読んでほしい一冊です。



### 『名もなき子』

水野梓(著) ポプラ社 2022年5月

図書館事務課 瓦本 朋子





配架場所：一般図書コーナー  
請求記号：913.6||MIZ  
ラベル番号：0050062

あまりにも現実感のある本であった。感想を述べるとすれば良くも悪くもその言葉につきます。普段私たちが見聞きしている現実世界の事と、寸分違わず書かれてあるのではないかと錯覚を覚えたほどです。虐待、高齢化社会、無戸籍、直視しないといけない様々な問題を提起された内容の中、私が一番心に残ったのは「正義について」でした。見る側面によって正義は全く反対のものになってしまう、それを常に念頭に置き最適な答えを出すこと、それが自分にできる精一杯の事であり、またこれから目を背けがちだった事にもできる限りの力で対処していこう、と考えさせられた一冊でした。

## 「HimeU×Book×LINK」参加者募集中!!

このたび2022年度より、「読書マラソン」として実施していました当館の読書推進企画を、  
「HimeU×Book×LINK」(ヒメユー・ブック・リンク)としてリニューアルしました!!

本を読み、感想・書評を書いて姫路大学附属図書館へ提出すると、館内での掲示や Web サービス「ブログ」上の「姫路大学附属図書館の本棚」で紹介され、ポイントが付与されます。ポイントの数に応じて、附属図書館より、学生生活に役立つ景品が進呈されます。自分が読んで役に立った本、感動した本などを皆と共有しあい、読書の輪を広げてみませんか。

-  来館しなくても、オンラインで申し込み手続きや感想文の投稿が行えるようにしました。
-  読んだ本の情報や感想を、Web 本棚ブログの「姫路大学附属図書館の本棚」で共有できるようにしました。(本棚への投稿の許諾がある場合のみ公開します。ペンネームで投稿可。)
-  企画名も姫路大学内で読書を通じた交流が広がってほしい、という願いを込めて、「HimeU×Book×Link」(ヒメユー・ブック・リンク)に変更しました。
-  投稿数に応じてもらえる景品に、新たに Apple Gift Card や Google Play ギフトカードなどの電子ギフト券が加わりました。(読書マラソンで受け取ったポイントは引き継がれます。)




### 「HimeU×Book×LINK」の参加方法

**①参加申込**



図書館ホームページの「H×B×L参加申込フォーム」、または図書館カウンターで申し込みます。

**②感想投稿**




読んだ本の感想を、「H×B×Lweb投稿フォーム」または感想カードで図書館に提出します。1冊の投稿ごとに1ポイントを進呈します。

**③掲示など**

投稿した感想・書評は、館内やWeb本棚ブログの「姫路大学附属図書館の本棚」で公開します(投稿者の許諾がある場合のみ)。

5ポイントごとに景品がもらえます!



感想・書評を投稿して、  
みんなで読んだ本の情報を共有しよう!!  
詳しくは、図書館のホームページを見てね。

### 「HimeU×Book×Link」景品一覧

- 5冊目=5point 選べる! クリップセット2つ+マーカーペン1本
- 10冊目=10point 文具セット+クリアケース
- 15冊目=15point 選べる! エコバッグ1つ+クリアファイル1つ
- 20冊目=20point 文具3点セット+図書カード500円分
- 25冊目=25point 選べる! USBメモリ1つ
- 30冊目=30point 選べる! 電子ギフト券1,500円分



## 附属図書館からのお知らせ

### 6月1日より、新型コロナウイルス感染症に伴う利用制限を緩和しました

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、これまで短縮開館としていましたが、2022年6月1日より通常開館へ制限を緩和しました。引き続き、ご利用にあたっては当館の感染防止策へのご協力をお願いいたします。

- 《開館時間》 月～金曜日：9時から17時までの短縮開館 → 9時から20時までの通常開館  
土曜日：9時から13時までの短縮開館 → 9時から16時までの通常開館
- 《館内滞在時間》 2時間以内 → 制限なし
- 《その他の制限》 同時入館者数15人まで

### 図書館の展示ケースを設置しました

2022年4月より、1号棟1階の図書館の掲示板付近に、新たに展示ケースを設置しました。このたびリニューアルした当館の読書推進企画「HimeU×Book×Link(ヒメユー・ブック・リンク)」の景品や、学生の皆さんに図書館で実際に手に取って読んでみてほしい司書お薦めの図書などを展示しています。学生の皆さんが図書館へ足を運びきっかけとなり、図書館利用を通じて、皆さんの学生生活が充実したものになることを願い、設置しました。今後も随時、展示内容を更新しますので、ご期待ください。

### トライやる・ウィークを実施しました

姫路市立大的中学校からの依頼を受け、2022年5月30日(月)から6月3日(金)まで、当館において中学生の社会体験活動「トライやる・ウィーク」を実施しました。女子生徒2名が図書等資料の装備や配架作業、カウンター業務、企画展示図書の選定とPOP作りなどを体験しました。「図書館には普段表には見えないたくさんの業務があり、大変だったけど、それ以上に楽しかった。」との感想を頂きました。

### Ovid MEDLINE & LWW電子ジャーナル講習会を開催しました

7月20日、本学が契約しているOvid MEDLINEとLWW看護学系電子ジャーナルについて、看護学部教員、大学院生を対象にWolters Kluwer社の講師による本学向けのオンライン講習会を開催しました。今回は、MEDLINE検索に重点をおいてご説明頂き、MEDLINEで看護学に関する研究論文を検索する方法などについて学びました。講習会後に同社よりご提供頂いた講習会録画と練習用画面は、図書館ホームページにおいて学内限定で公開しました。



姫路大学附属図書館ニュースレター

編集後記

はま風 sea breeze 第26号 2022年9月12日(月)発行

新型コロナウイルス感染症のパンデミックに続き戦争と、社会が今後どのように移行していくのか、不透明なままです。このような危機や困難に対応し乗り越えていくためには、無関心ではなく、情報・知識を積極的に収集し、思考し、言語という道具を用いて人と対話し続けることが大切ではないでしょうか。この4月から始まった新しい読書推進企画「HimeU×Book×Link」も、その基盤となる語彙力や思考力、表現力を身に付けるだけでなく、学生同士が刺激し合い、交流し、新しい価値を生み出していくきっかけになっていくことを願っています。

■編集・発行 姫路大学附属図書館

〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町2042番2

TEL: 079-247-7396

E-MAIL: tosyokan@koutoku.ac.jp